

SDS（安全データシート）

作成日 2017年3月31日

改定日 2024年2月20日

1. 化学品及び会社情報

製品名： J-tape、JC Mat-tape／舗装ジョイントテープ
会社名： 株式会社 TAC
住所： 愛知県名古屋市中川区的場町2-70-1
電話： 052-354-3546
ウェブサイト： <http://taccorp.jp/>
推奨用途： ジョイント・シーリング・テープ

2. 危険有害性の要約

GHS分類： 皮膚刺激性： 分類3
眼刺激性： 分類2B
特定標的臓器毒性
- 反復ばく露（皮膚） 分類2

GHSラベル要素：



注意喚起語： 警告

危険有害性： H316 - 軽度の皮膚刺激を引き起こす。
H320 - 眼刺激を引き起こす。
H373 - 長期にわたるあるいは反復ばく露により臓器(皮膚)の障害を引き起こすおそれ。

注意書き： 予防策：
P264 - 取り扱い後に手及び接触した箇所を十分に洗浄する。
P270 - 本製品を使用中は飲食、喫煙をしない。
処置：

P301 + 312 + P330 + P331 - 飲み込んだ場合：気分が悪い場合、医師に連絡すること。口をすすぐこと。吐くことを促さないように。

P302 + P313 + P332 + P352 + P362 + P364 - 皮膚に付着した場合：医師の診断を受けること。皮膚に炎症を生じた場合：医師の診断を受けること。十分な量の石鹼と水で洗浄すること。物質を除去するのが困難な場合、ミネラルスピリットを使用して残滓を取り除くように。汚染した衣服を脱ぎ、それを再使用する前に洗浄するように。

P305 + P337 + P338 + P351 - 目に入った場合：注意しながら数分間水で洗眼すること。コンタクトレンズを使用している場合、容易であるなら取り外すように。すすぎ続けること。もし目の刺激が続く場合：医師の診断を受けること。

P314 - 気分が悪い場合、医師の診断を受けること。

保管：特になし

廃棄

P501 - 内容物は国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。(詳しくはセクション13を参照のこと)

その他の危険

特になし

3. 組成、成分情報

化学名	CAS No.	濃度
石灰	1317-65-3	60 ± 10%
ブテン単独重合体	9003-29-6	39.5 ± 10%
カーボンブラック	1333-86-4	0.5 ± 0.4%
ポリプロピレン	9003-07-0	0.002 ± 0.001%

4. 応急措置

眼： 水で15分間洗い流すこと。機械的刺激がある場合、医師の診断を受けるように。

皮膚： 皮膚から除去し、石鹼と水で洗浄すること。物質を除去するのが困難な場合、ミネラルスピリットを使用して残滓を取り除くように。刺激が進行する場合、医師の診断を受けるように。

吸引： 該当しない

飲み込んだ場合： 吐くことを促さないこと。直ちに医師の診断を受けるように。

急性及び遅発性症状に係わる**特別注意事項**：目及び皮膚に対する刺激。長期にわたるあるいは反復ばく露により皮膚の障害を引き起こすおそれ

医師への**注意事項**： 患者の症状及びばく露の状況に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適した消火剤： 小規模火災の場合、二酸化炭素(CO₂)、粉末薬品、あるいは水噴霧を使用すること。大規模火災の場合、粉末薬品、泡、あるいは水噴霧を使用すること。

危険な燃焼： 一酸化炭素、二酸化炭素、イソブテン、及び他の燃焼生成物が出る可能性あり。

保護具及び注意事項： 大規模火災の消火活動を行う場合、自給式の呼吸器及び保護服を着用すること。使用者の地域における緊急時防災対策に従い、避難及びかかる場所を隔離するかを判断すること。火に晒される容器などに水をかけて温度上昇を防ぐこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：適切な個人用保護具を使用すること。安全な取り扱い方法、使用者が着用すべき個人用保護具についての指示に従うこと。

環境に対する注意事項： 安全に行える場合、さらなる漏出を防ぐこと。環境への排出を防ぐこと。

封じ込め・浄化： 漏出物を拭き取るあるいはかき集め、回収または廃棄のため收容すること。国及び地域の法令に従い、廃棄すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 取り扱い後、及び飲食、喫煙の前に、手及び晒された箇所を十分に洗浄する。個人用保護具を使用すること。

保管： 一般的保管施設条件にて保管すること。容器を乾燥させておくこと。

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露ガイドライン： 化学名	CAS番号	型	管理数値
石灰	1317-65-3	ACGIH	10 mg/m ³ 粉塵総量 3 mg/m ³ 呼吸性分画
		OSHA PEL	15 mg/m ³ 粉塵総量 5 mg/m ³ 呼吸性分画

ブテン単独重合体	9003-29-6	ACGIH	限度は設定なし
		OSHA	限度は設定なし
カーボンブラック	1333-86-4	ACGIH	3mg/m ³ TWA
		OSHA	3.5mg/m ³
ポリプロピレン	9003-07-0	ACGIH TLV	該当なし
		OSHA PEL あるいは TWA	該当なし

設備上管理条件： 局地及び全体換気装置を推奨。

個人用保護具：



眼の保護： 保護メガネを推奨。

皮膚及び身体保護： ばく露を減少するための手袋を推奨。適切な保護手袋として、綿、革、ニトリルゴム、天然ゴムあるいはネオプレンゴムを推奨。ばく露を減少するために長袖及び長ズボンの着用を推奨。

呼吸器の保護： 適正な局地換気が設置されている場合必要なし。空気採取により濃度が推奨限度を超えている場合、あるいはかかる濃度が明らかでない場合、適切な呼吸器保護具を着用すること。呼吸器に係わるOSHA規制(29 CFR 1910. 134)を遵守し、NIOSH/MSHAが認可する呼吸器を使用のこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観：	黒色、粘着性固形
臭い：	ほのかな、刺激性の弱い臭い
臭い閾値：	特定なし
pH：	特定なし
氷点/融点：	特定なし
沸点及び範囲：	特定なし
引火点：	特定なし
蒸発率：	特定なし
燃焼性：	可燃性危険物とは分類されない
下限・上限燃焼性：	特定なし
蒸気圧@ 25°C：	特定なし

蒸気密度：	特定なし
比重：	1.65g/cm ³
溶解度：	特定なし
分配係数：	特定なし
(n-オクタノール・水)：	
自然発火温度：	特定なし
分解温度：	> 200°C(392°F)
粘度：	特定なし

10. 安定性及び反応性

反応性：	非反応性
化学的安定性：	安定
危険反応可能性：	危険反応あるいは重合は発生なし
避けるべき条件：	なし
危険反応物質：	強酸化剤との接触を避けるように。
混触危険物質：	一酸化炭素、二酸化炭素、イソブテン、及び他の可燃物により燃焼の可能性あり。

11. 有害性情報

ばく露可能性のある経路：	皮膚接触 眼接触 摂取
急性毒性：	<u>製品</u> （混合算出法） 経口： LD ₅₀ > 8000 mg/kg 経皮： LD ₅₀ > 6400 mg/kg 吸引： LD ₅₀ > 17 mg/L <u>成分</u> 石灰石 経口： LD ₅₀ 6450 mg/kg 経皮： LD ₅₀ データなし 吸引： LD ₅₀ データなし

ブテン、単独重合体

経口： LD₅₀ > 34,600 mg/kg

経皮： LD₅₀ > 10,250 mg/kg

吸引： LD₅₀ > 17.3 mg/kg

カーボンブラック

経口： LD₀ > 8,600 mg/kg

経皮： 刺激性ではない

吸引： 刺激性ではない

皮膚腐食性・刺激性：

製品

データなし。

成分

ブテン、単独重合体

軽度の皮膚刺激を起こす

眼の損傷・刺激性：

製品

データなし。

成分

ブテン、単独重合体

眼の刺激を起こす

呼吸器・皮膚感作性：

入手可能情報によれば分類外。

変異原性：

入手可能情報によれば分類外。

発がん性：

入手可能情報によれば分類外。

生殖毒性：

入手可能情報によれば分類外。

特定標的臓器毒性 - 単回ばく露： 入手可能情報によれば分類外。

特定標的臓器毒性 - 反復ばく露： 製品

データなし。

成分

ブテン、単独重合体

長期にわたるあるいは反復ばく露により臓器(皮膚)の障害を引き起こすおそれ。

吸引危険性： 入手可能情報によれば分類外

12. 環境影響情報

生態毒性： データなし

残留性及び分解性： データなし

生体蓄積性： データなし

土壌内移動性： データなし

その他有害影響： 本製品はモントリオール議定書の附属書0.1%以上の濃度にて規定するいかなる管理物質をも含まない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法： 本製品はRCRA危険度分類(40 CFR 261)特性に基づき評価され、購買時の状態にて廃棄しても危険廃棄物の要件には該当しないとされる。かかる物質を雨水あるいは下水設備に廃棄しないこと。廃棄については国あるいは地域の法規制が別途要求事項を課す場合がある。

パッケージの廃棄： プチルシーラントに汚染されたパッケージは該当地域の規制に従い廃棄すること。洗浄され空にされたパッケージは再利用あるいは廃棄のため認可された廃棄物処理場へ輸送すること。

14. 輸送上の注意

DOT(49 CFR 172.101)： DOT規制の対象外

国連番号： 危険物の規定外

国連輸送名： 危険物の規定外

危険度クラス： 非該当

包装等級： 非該当

海洋汚染物質：	なし
バルク輸送：	マルポール条約73/78附属書II及びIBCコードによれば、製品として供給される形態においては非該当
海上輸送(IMDG)：	IMDGコードの対象外
航空輸送(IATA)：	IATA規制の対象外
特別注意事項：	非該当

15. 適用法令

本MSDSの記載事項はOSHA危険有害性周知基準29 CFR 1910.1200.に準ずるものである

TSCA規制法： 当該製品に使用されるすべての化学物質は、TSCA既存化学物質リストに記載されているか、同リストの規制対象外である。

SARA 302： 該製品に使用されるすべての化学物質は、SARA第3章・セクション302に定める報告要件の対象外である。

SARA 304： 当該製品は、SARA第3章・セクション304に定める報告義務量に該当するいかなる極めて危険な物質を含んでいない。

SARA 311/312 危険： 慢性健康有害性

SARA 313： 当該製品は、SARA第3章・セクション313に定める報告レベル(僅少)閾値を超過するCAS番号に該当するいかなる化学化合物をも含んでいない。

カリフォルニア州プロポジション65：警告：当該製品は、カリフォルニア州が発がん性として規定する薬品を含んでいる；結晶性シリカ(CAS番号14808-60-7, <0.08%)

16. その他の情報

NFPA :



HMIS :

健康	1
可燃性	1
物理化学的危険性	0

省略形及び頭文字 :

ACGIH – アメリカ合衆国産業衛生専門家会議
CAS – ケミカル・アブストラクツ・サービス
CFR – 連邦規則集
DOT – アメリカ合衆国運輸省
GHS – 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
HMIS – 危険有害性物質識別システム
IATA – 国際航空運送協会
IARC – 国際がん研究機関
IBC – 中型容器
IMDG – 国際海上危険物規程
LD₅₀ – 半数致死量
MARPOL – 船舶による汚染の防止のための国際条約（海洋汚染）
mppcf – 百万個／立方フィート
MSDS – 化学物質等安全データシート
MSHA – 鉱山安全衛生庁
NFPA – 全米防火協会
NIOSH – 国立労働安全衛生研究所
NTP – 米国国家毒性プログラム
OSHA – 米国労働安全衛生局
PEL – 許容ばく露限界
RCRA – 1976年資源保護回復法
SARA – スーパーファンド修正及び再授權法

SDS – 安全データシート

STOP – 特定標的臓器毒性

TSCA – 1976年有害物質規制法

UN – 国際連合

上記データは、当該製品の仕様書ではなく、一般的数値を、誠意のうちに提供するものである。明示あるいは黙示を問わず、いかなる保証も付与するものではない。推奨する産業衛生上及び安全的取り扱い手順は一般的に適用可能とされているものである。しかしながら、各々の使用においてはその用途の具体的条件に応じて、ここに推奨する事項が適正かどうか見直す必要がある。各ユーザーは、適用される地域の法規制に準拠する義務を持つものとする。